



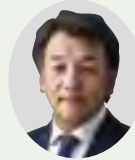
さて、今年はどうなる年

総務委員長 吉田 徳治

会員の皆様、あけましておめでとうございます。

昨年は人類が経験したことのない新型コロナウイルスとの闘いの年でした。集まって顔を突き合わせて会議し、疲れをいやすために酒を酌み交わし、交流を深めていた日常が「集まらない・直接の会話を控える・密着した状況は設けない」など、今までの日常を否定する一年でした。

TV会議システムも大普及し、さらにはリモートでの飲み会もありました。このような中、厳しいご商売を余儀なくされた会員の皆様も沢山いらしたことでしょう。我々は、有意義な情報を的確に皆様にお届けする努力を続けるとともに、IT技術を活用しながら、会員満足を優先に活動する委員会であり続けるつもりです。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



中小企業等の活力強化に向けて

企業経営委員長 木山 光

新年あけましておめでとうございます。

当委員会は中小企業・小規模事業者の経営に直接影響する税制改正や中小企業政策について議論し、提言を取りまとめ、日本商工会議所を通じて政府や関係機関に要望しております。昨年はコロナ禍の影響により委員会活動が制限され、中小企業政策について要望を取り纏める事が出来ませんでした。

本年は継続的に取り組んでいる事業承継税制の見直しなどの議論をさらに深め、より活用しやすい税制となるべく議論と要望を継続して参ります。また、ウィズコロナ時代に直面している今、事業継続・雇用維持を第一に考え、直面する経営課題に対する支援施策の充実に向けた要望活動を実施するなど、引き続き積極的な委員会活動に取り組んで参ります。本年も何卒よろしくお願いいたします。



新潟県産品の魅力発信

国際貿易委員長 別府 幸典

新年あけましておめでとうございます。

国際貿易委員会では、「農産品を含めた新潟県産品の“オール新潟”による海外展開、輸出拡大」の支援を目指し、港湾等の施設、海外展開支援のサポート、ブランド化、輸出支援体制等を協議、提言してまいりました。

昨年来の新型コロナウイルス感染症拡大による大きな商流の変化として、インターネットを活用したオンライン商談のあり方が試行されているところです。

時代の変化を見据え、中小企業・小規模事業者の海外への販路開拓、輸出拡大と新潟港や新潟空港の活性化のため、引き続き「オール新潟」体制を念頭に活動を展開してまいります。引き続き皆様のご支援をお願いいたします。



新潟のまちの発展に向けて

まちづくり委員長 阿部 正喜

新年あけましておめでとうございます。

さて、コロナ禍においてテレワークやワーケーション等、新しい生活様式に対応した働き方や生き方に注目が集まり、各地で広く取り組まれたこともあって、地方の可能性がこれまでになく高まっていると同時に、地域間の競争が激化しています。人口減少社会の処方箋として交流人口や関係人口、ひいては居住人口を増やしていくためには、新潟の価値を高め、その価値を発信していかなければなりません。

行動派を自認しています当委員会といたしましては、引き続き行政や関係機関とも連携し、新潟のまちの発展に向けて精力的に活動してまいります。

本年も何卒よろしくお願いいたします。



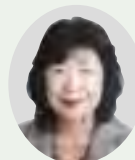
新潟経済の活性化に向けて

政策委員長 柴山 圭一

新年あけましておめでとうございます。

当委員会では昨年、「交通利便性の向上(二次交通・着地型インフラ・デマンド等)」と「拠点性の向上(LCC誘致・輸出戦略・企業誘致等)」の2つのテーマについて、議論を進めてまいりました。しかし、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大の影響を踏まえ、現在はゼロベースでの見直しを行っています。

こうした中、政府は2050年までに脱炭素社会(温室効果ガス実質ゼロ)の実現を宣言しました。また、DXに象徴されるようにデジタル技術を活用した様々な変革が起こっています。当委員会でも、ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、デジタル化や環境・SDGs等のトレンドと日々変化する経済情勢を捉えて、関係機関と連携しながら新潟経済の活性化に向けて事業を推進してまいりますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。



5000会員を目指して

パワーアップ5000推進委員長 池田 洋子

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様、今年も会員増強運動「ご紹介ください!おひとり一社」をよろしくお願いいたします。

昨年のコロナ感染では当商工会議所は補助金制度や銀行の融資等の相談が速やかに出来るように配慮されました。事業主にとって、情報の周知は大切です。

今の若い世代の中には夢を共有する仲間と起業して頑張っていこうと意欲的な方々も多いです。彼らは、一度は新潟を離れたが仕事を通して地域貢献するなら自分が生まれ育ててもらった新潟だ!と思っているのだと思います。

明治時代に設立された商工会議所は今回のコロナ感染のような非常時を過去にも遭遇しながら新潟の地域経済を導いてきました。

会員増強の大切さを再度認識し、当委員会一同頑張りますのでご協力の程よろしくお願いいたします。

「開志専門職大学」を開学いたしました

NSGグループ 代表
池田 祥護

NSGグループでは、昨年4月に開志専門職大学を開学いたしました。開学にあたり多大なるご支援をいただいた皆様方に心より感謝申し上げます。

専門職大学は実践的な職業教育に対する社会の要請に応じて、国が55年ぶりに創設した新たな大学制度です。事業創造学部と情報学部に加え、アニメ・マンガ学部の今年4月設置が決定し、開設に向けて準備を進めております。

今後も産業発展や産業創出を担う人材を育成し、地域活性化に微力を尽くして参る所存でございます。

診療拒否

株式会社キタック 代表取締役会長
中山 輝也

親切・丁寧がモットーの日本歯科大学に40年間も通ったおかげで、「8020」は達成している。

秋晴れのある日、久しぶりに山形県へ米沢牛を賞味に出掛けた。翌日通院。消毒、検温は当然だが県外への移動歴、接触者も記入。ほとんどが「NO」だが、県外への移動歴は記載した。担当医が何とか診察しようとしたが、上司の判断で受診は後日へ。厳しいが、この大学のルールに従わねばならない。帰り際、主任医師が私に謝られたので「むしろ謝るのは私です」と申し上げた。

しばらくして、もし「県外を記入しなかったら…」と頭の中をよぎったが、それはよくないことだ。もしコロナを運んだとしたら、取り返しのつかないこと。やはり申告は正確かつ正直であるべき。

コロナ禍の早期終焉を願い、診療拒否はあって然るべきである。

大きな夢を持って

株式会社中野組本店 代表取締役社長
中野 進

朝6時25分のテレビ体操から私の一日は始まります。日々新たな身体と心を一新してと努めています。昭和6年満州事変の年に生まれ、支那事変、太平洋戦争と激動の少年期を体験、更に青年期は会社の大部分が壊滅した新潟地震を乗り切り、現在に至っております。現在コロナ災難により交通、旅行、宿泊飲食などの業種は天災といつていいような困難に遭遇していますが、あの戦中、戦後を乗り切った日々を思うとき沸々たる元気が湧いてまいります。皆さん大きな夢を持って明るい未来を描き、世の為、人の為、頑張ろうではありませんか。

疾風知勁草をめざして

新潟県信用保証協会 会長
坂井 康一

昨年、世界中で猛威をふるった新型コロナウイルス感染症の影響が依然として暗い影を落としております。しかし、今が胸突き八丁の踏ん張りどころです。当協会も、信用保証を通じて「セーフティネット機能」や「スプリングボード機能」を着実に果たせるよう努めてまいります。

また、昨年5月に本店事務所を古町ルフルに移転しました。これを機に、中心市街地活性化や持続可能な地域社会の実現にも貢献できればと願っております。

神様・ほとけ様

新潟中央水産市場株式会社 代表取締役
藤田 普

国・県・市の観光政策に乗って新潟ふるさと村やピア万代、上越あるるん村から築地に至るまで大志を抱いて展開した各地の観光系水産品販売事業は、一時は追い風満帆に見えたものの、ここへ来て「大ドンデン返し」を食らってしまい現在では逆風どころか竜巻に巻き込まれバラバラに破壊されそうな状況に陥っております。

セーフティーネットを利用する延命策は講じてはいるものの、はてさていつまで持つものやら。予断を許さない状況の中でここまで来てしまうと頼むはやはり「神様」「ほとけ様」「銀行様」いや、「商工会議所様」。

今こそビッグチェンジ

株式会社新潟日報社 代表取締役社長
小田 敏三

新型コロナウイルスは、百年に一度のビッグチェンジ(大改革)を我々に迫っている。「収束」は2年あるいは3年先となり、最も大事な覚悟は「元に戻ることはない」。迫られるビッグチェンジといっても、目新しいことではなく、既に抱えている日々の課題がより顕在化しただけ。「いずれやらなければ」ではなく「今こそ手をつける」。スピード感を持って。

活字メディアの急務は、「紙」と「デジタル」の融合。読者視線を徹底して感じることでビッグチャンスへの飛躍につなげたい。